

令和8年9月版



大区画化等 加速化支援事業

農業者向けガイドブック
(山形県版)



令和8年度版

山形県大区画化等推進協議会

大区画化等加速化支援事業 農業者向けガイドブック(山形県版)

1. このガイドブックについて

このガイドブックは、大区画化等加速化支援事業を実施する農業者の方が、必要な手続きの流れや提出書類を分かりやすく確認できるよう作成したものです。

2. 事業実施の流れ



3. 事業で必要な書類

別記 様式	書類名	内容	提出時期
第1号	大区画化等加速化計画	事業計画書	地区採択申請時
第2号	採択申請書	採択申請に必要な書類	地区採択申請時
第4号	交付申請書	交付金の交付申請	地区採択決定後
第6号	事業計画変更申請書	計画変更時に提出	計画の変更時
第8号	交付内容変更申請書	交付内容変更時に提出	交付内容の変更時
第11号	事業達成状況報告書	事業の実績を報告	事業完了後
第13号	年度終了地区実績報告書	翌年度へ持越す場合に報告	翌年度に持越す場合
第16号	交付決定前着手届	交付決定前に工事着手の場合	交付決定前に着手

4. 工事実施時に必要な記録・報告するもの

大きく分けると次の3つです。

必要なもの	内 容	いつ	何で
①写真	工事前	工事の実施前	・作業日報アプリ もしくはエクセル※ ※県 HP に掲載
	施工状況	主要な工事の施工中	
	完成	工事の完成時	
②工事实績の記録	計画の数量と実績	年度計画の工事がすべて終わった時	・作業日報アプリ ・大区画化等加速化計画
③工事にかかった金額の記録	請負工事費	契約した日	・作業日報アプリ もしくはエクセル※ ※県 HP に掲載
	請負業務費	(変更契約時も)	
	労務費	作業を行った日	
	材料費		
	機械経費		
	その他		

5. 作業日報アプリの入力方法

<入力前にご確認ください>

- ・契約書、領収書などの原本を整理、保管するのは事業実施主体の皆さんです。
- ・報告漏れがあった場合、本来受けられる交付金を受けられなくなる可能性がありますので、作業を行った日に入力することをおすすめします。
- ・入力内容と根拠資料に相違がある場合は、根拠資料を正として取り扱い、協議会事務局で入力内容を修正することがあります。

<作業日報アプリ入力の注意事項など>

大区画化等加速化支援事業 作業日報アプリ

基礎情報

地区コード

地区名（自動入力）*

実施主体名（自動入力）*

市町村名（自動入力）*

事業開始（自動入力）*

事業完了（自動入力）*

基礎情報を確認しましたか？*
☐ 確認した

作業を行った日*

本日の作業状況写真

着工前
 最大10MB

施工状況
 最大10MB

完成
 最大10MB

備考

採択通知時にお知らせした 8 桁の数字

スマホの写真を報告撮影した位置情報のスクショも添付可能

「作業内容」や「撮影場所」を記入

今回は何を報告しますか？ (作業選択)

☒ 請負工事費（業者と契約）
☐ 請負業務費（業者と契約）
☐ 労務費（作業した人の時間など）
☐ 材料費（購入した材料）
☐ 機械経費（使用した機械・燃料代）
☐ その他（保険など）
☐ 事業計画と実績の報告（1年間の工事が終わった時に入力）

1 請負工事費

工事名

請負工事内容

工事金額（円）

請負工事根拠資料

2 請負業務費

業務委託名

請負業務内容

業務金額（円）

請負業務根拠資料

今回報告内容に✓

金額に変更があった場合、増減額を記入（例）
 契約金額
 2,000,000 円
 ⇒1,800,000 円
 入力
 -200,000 円

契約書など画像添付

3 労務費①

作業者氏名

有償・無償*
☐ 有償 ☐ 無償

労務時間（h）

参考金額（円）

労務費根拠資料
 最大10MB

報告内容を追加しますか？
☐ 追加する

4 材料費①

品名

材料単価

単位

数量

金額（円）

材料費根拠資料
 最大10MB

報告内容を追加しますか？
☐ 追加する

作業者ごとに記入複数日分をまとめて報告は不可

日当を支払う作業者は有償

日当の領収書など

材料の領収書など

5 機械経費①

機械名称・規格

機械ごとに記入

所有区分 *

☒ 自己所有

☐ リース

単価

単位

数量

金額 (円)

0

機械経費根拠資料

ファイルを選択 最大10MB

報告内容を追加しますか？

☐ 追加する

<自己所有の場合>
損料表を参考に記入
<リースの場合>
見積書、領収書の単価を記入

<リースの場合>
見積書、領収書など

6 その他内訳

名称

内容

金額 (円)

0

その他根拠資料

ファイルを選択 最大10MB

契約書など

本日の合計金額【参考】

0

1 請負工事費 (円)

0

2 請負業務費 (円)

0

3 【参考】労務費 (円)

0

4 材料費 (円)

0

5 機械経費 (円)

0

6 その他 (円)

0

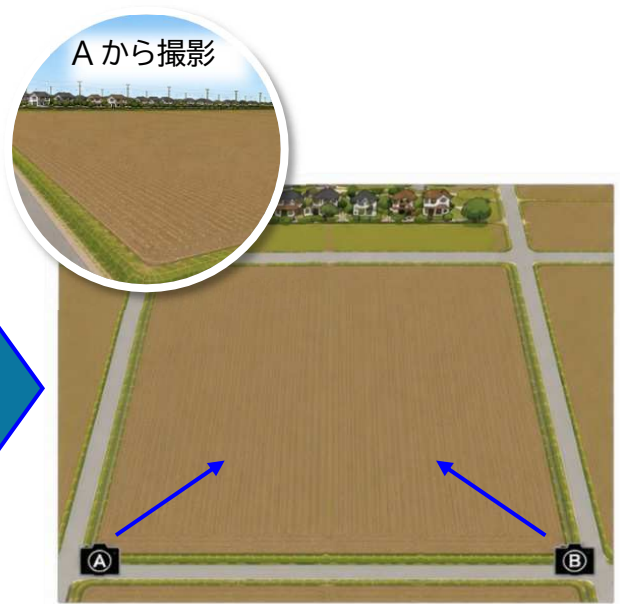
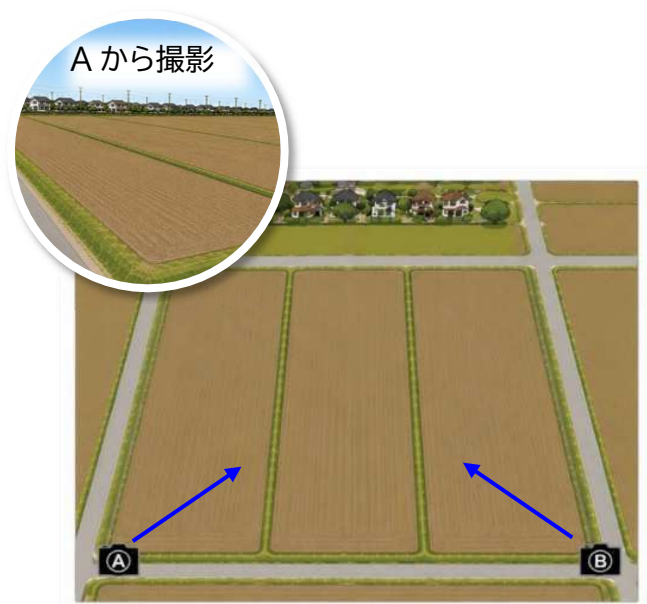
入力内容の合計額が表示されます。

6. 写真撮影方法

【区画拡大・暗渠排水など】

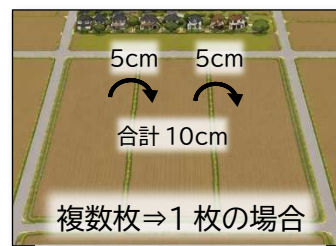
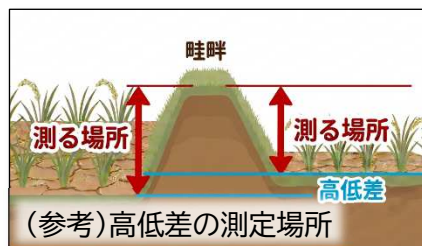
<工事前・完成写真>

- ・工事箇所ごとに、下図の A 地点・B 地点からの 2 箇所で工事前後とも同じ箇所で撮影
- 工事箇所が複数の場合、面積が最大の箇所 1 箇所、任意箇所 1 箇所以上の計 2 箇所以上で撮影



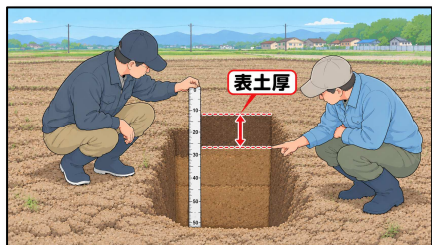
<区画拡大の工事前の高低差の写真について>

- ・高低差 10cm 超の単価の交付を受けるすべての農地では、高低差の測定写真が必要です。
写真などにより 10cm 以上の高低差を確認できない場合、交付額が減となる場合があります。
- ・高低差 10cm 以下は工事で「表土整地・耕地復旧」を行っているかを確認します。



<区画拡大の工事前の表土厚確認の写真について>

- ・「表土扱い有」の場合は、表土の厚さを確認している写真を撮影してください。
表土厚を確認できない場合、交付額が減額となる場合があります。



<施工状況写真>

- ・主な工種については 1 回以上撮影するようにしてください。
図は代表例であり、撮影工種を限定するものではありません。
- ・暗渠排水、湧水処理で「全延長管径 65mm 以上」の場合、管径を撮影してください。写真で確認できない場合、交付額が減となる場合があります。

◆《代表例》区画拡大(農業者自力施工)

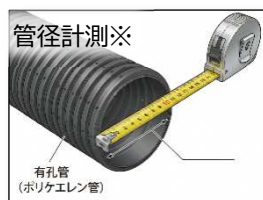


◆《代表例》区画拡大(業者請負施工)



◆《代表例》暗渠排水

※【必須】「全延長管径 65mm 以上」の場合



【用・排水路など】

<工事前・完成写真>

・工事する箇所ごと「上流側」と「下流側」から2箇所程度ずつ同じ場所から撮影



<施工状況写真>

・主な工種については1回以上撮影(図は代表例であり、撮影工種を限定するものではありません)



7. 見積書・契約書・請求書の記載例

・委託先で使用している様式を使用いただいて構いません。

・工事費内訳書については、記載例を参考に、実施した工事の内容が分かるように記載してください。

請 求 書

〇〇〇 様

〇年〇月〇日

〇〇建設株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
住所 〇〇〇〇
電話 〇〇〇〇

¥〇,〇〇〇,〇〇〇

工事費:

消費税:

工 事 名: 〇〇地区 〇〇工事

工事場所: 〇〇市 〇〇地内

工 期: 〇年〇月〇日から〇年〇月〇日まで

工事概要: 区画拡大工 〇ha

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接工事費		1	式		〇〇〇〇	
	区画拡大	10cm超、表土扱いあり					
	表土剥ぎ取り	バックホウ〇m級	〇〇	a	〇〇	〇〇〇〇	
	基盤造成	ブルドーザ〇t級	〇〇	a	〇〇	〇〇〇〇	
	表土戻し整地	バックホウ〇m級 ブルドーザ〇t級	〇〇	a	〇〇	〇〇〇〇	
	耕地復旧	トラクタ〇PS級	〇〇	a	〇〇	〇〇〇〇	
2	諸経費		1	式		〇〇〇〇	
10	計		1	式		〇〇〇〇	
11	消費税		1	式		〇〇〇〇	
100	合計						

8. 機械損料表

・自己所有の機械経費を計上する場合は、下表の単価を用いて算出してください。

損料表の見方

・「購入金額の区分」は、農業者が機械を購入した際の金額をもとに、該当する区分を選定します。

・「類似機械」は、基準書に記載のない作業機について、同種の作業を行う機械の参考例です。

機械	規格など	時間当たり 損 料
 動力・けん引		
農用トラクタ (乗用・ ホイール型)	11kW以下 (15ps以下)	1,260円
	22kW級 (30ps)	2,410円
	30～44kW級 (40～60ps)	3,060円
	52～59kW級 (70～80ps)	6,170円
	67kW級以上 (90ps以上)	6,790円
農用トラクタ (乗用・ クローラ型)	30kW級以下 (40ps以下)	4,310円
	52～59kW級 (70～80ps)	6,120円
	67kW級以上 (90ps以上)	9,220円
 土工		
バックホウ	標準バケット容量 0.1m ³ 級以下	1,390円
	標準バケット容量 0.2m ³ 級	1,740円
	標準バケット容量 0.25m ³ 級	2,090円
	標準バケット容量 0.45m ³ 級	2,840円
	標準バケット容量 0.8m ³ 級	4,850円
ダンプ トラック	2t積級	1,610円
	4t積級	2,430円
	8t積級	4,370円
	10t積級	5,870円

機械	購入金額の区分	時間当たり 損 料	類似機械
⦿ 耕起・混和			
ボトム プラウ	～300万円	6,620円	プラウ、スタブルカルチなど
	301～350万円	7,940円	
	351～400万円	9,260円	
	401～450万円	10,600円	
	451～500万円	11,900円	
	501～550万円	13,200円	
	551～600万円	14,500円	
	601万円～	15,800円	
サブ ソイラ	～20万円	297円	-
	21～35万円	542円	
	36万円～	934円	
⦿ 砕土・整地			
ロータリ ティラー	～50万円	198円	ディスクロータリー、バーチカルハロー、パワーハローなど
	51～100万円	403円	
	101万円～	798円	
⦿ 均平・整地			
レーザー レベラ	～150万円	1,660円	ランドメーカー、レーザープラウなど
	151～200万円	2,490円	
	201～250万円	3,310円	
	251～300万円	4,140円	
	301～350万円	4,950円	
	351～400万円	5,780円	
	401～450万円	6,600円	
	451～500万円	7,430円	
	501～550万円	8,250円	
	551～600万円	9,070円	
	601～650万円	9,910円	
	651万円～	10,700円	

△ ※ 機械・作業機の損料は、基準書に基づくもの、または購入金額等を基に算定した目安額です。

※ 実際の使用にあたっては、機械の仕様や作業内容を踏まえ、適宜ご判断ください。

9. 計画数量と実績数量の報告

- ・基本的には、加速化計画の年度計画のすべてが完了した時にのみ報告するものです。
- ・大区画化等加速化計画の事業量と実績が異なる場合は聞き取りを行います。
- ・なお、実績数量が計画数量を上回った場合でも、原則として交付額の増額はできません。

今回は何を報告しますか

- ☐ 請負工事費（業者と契約した工事）
- ☐ 請負業務費（業者と契約した業務）
- ☐ 労務費（作業した人の人件費）
- ☐ 材料費（購入した材料）
- ☐ 機械経費（使用した機械）
- ☐ その他（保険料など）
- ☐ **事業計画と実績の報告（1年間の工事が終わった時に入力）**

1 請負工事費

工事名

請負工事内容

工事金額（円）

請負工事根拠資料

ファイルを選択

2 請負業務費

業務委託名

請負業務内容

業務金額（円）

請負業務根拠資料

ファイルを選択

事業計画と実績の報告

工事実施年度 *

選択

持越し *

☒ 該当 ☐ 非該当

施工形態

選択

工程・条件

選択

区分

選択

計画事業量

単位

選択

実績事業量

備考

確認

加速化計画の数字を記入

実績値を記入

減算の場合など

項目追加の場合

10. 報告内容の確認・修正のログイン方法

- ・ログインすると「過去に報告した内容の確認」「必要に応じて内容を修正」ができます。

トヨクモ

FormBridge kViewer

kMailer PrintCreator

DataCollect kBackup

ログイン

Googleでログイン

Microsoftアカウントでログイン

メールアドレスでログイン

登録メールアドレス入力 ⇒ メールが届く(右図)

トヨクモ kintone連携サービスにログイン

ログイン

11.作業日報アプリ等へのアクセスはこちらから



12.【必ずご確認ください】留意点・助成額に関すること

◆留意点

- ・農地中間管理事業を活用して賃貸借している農地で整備を行う場合は、返還時の原状回復の取扱いなどについて事前に確認してください。
- ・事業実施にあたっては所有者の同意を得るとともに、農地法等の関係法令の手続きは実施主体が自ら行ってください。
- ・農業者が自ら行う作業がある場合は、傷害保険、賠償責任保険等の加入が必要です。
- ・工事内容や施工面積などに変更が生じる場合は、事前に協議会へ相談してください。
予算の都合上、交付額の増額を伴う変更については認められない場合があります。

◆助成額に関係すること(主に減額に関すること)

- ・交付決定前に着手した工事は、交付決定前着手届の提出がない場合、交付対象とならないことがあります。
- ・交付決定額は原則交付上限額です。実績額と交付決定額を比較して安い額を交付します。
- ・詳細な聞き取り後に判明した事項の内容によっては、減額となる場合があります。
- ・「表土扱い」を行っている写真が無い場合は、高低差 10cm 以上でも「高低差 10cm 以下/表土扱いなし」の単価に減額となります。
- ・助成単価の単位が「面積」の事業メニューは、整備後農地1枚ごとに1a 未満切り捨て
- ・助成単価の単位が「メートル」の事業メニューは、延長を 10m未満切り捨て
- ・区画拡大や暗渠排水などの工種で「耕地復旧」を行わない場合、交付額が減となります。
耕地復旧とは…表土整地や埋戻しなどと一体的に行う耕起と雑物除去などの作業
- ・補助対象外の経費は交付額の算定に含まれません。

13. 問合せや提出書類などの提出先

本事業に関する問合せや提出書類などの提出先は下記のとおりです。

提 出 先 : 山形県大区画化等推進協議会(山形県土地改良事業団体联合会内)

電 話 番 号 : 023-647-8851

メールアドレス : daikukaku@sanae.or.jp

所 在 地 : 〒990-2473 山形市松栄1-7-48

山形県土地改良事業団体联合会内 山形県大区画化等推進協議会